

未成年に対する新型コロナワクチン接種体制等改善を求める要望書

令和3年 8月11日

鹿児島県教育委員会 教育長
東條 広光 様

子どもたちの健やかな生活を守る会
代表 鮫嶋 祥子

日頃より、子どもたちのための新型コロナウイルス感染症対策にご尽力をいただいていることに感謝申し上げます。

さて、鹿児島市では10代の子供たちへの新型コロナワクチン接種予約開始日が8月30日からとなっております。

しかし、7月21日厚生労働省発表の資料によると接種後の死亡者は751名、接種後の重篤者は2,812名（男性844名、女性1,962名、性別不明6名）となっています。

死亡との因果関係は全て不明ですが、従来のワクチンでこれだけの接種後の死亡者が出たのでしょうか。

引用元：第64回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会、令和3年度第12回薬事・食品衛生審議会薬事分科会医薬品等安全対策部会安全対策調査会（合同開催）資料より

新型コロナワクチンは、mRNA ワクチンという遺伝子改変技術を用いた製剤であり、人類に対して今まで使用されたことはありません。そのため、短期的、中長期的なリスクも定かではありません。

本来、承認されるまでに必要とされる治験も終わらないまま、緊急事態の名のもとに大規模接種事業が展開されている状況です。そのような状況で、身体的、精神的に成長途上にある12歳以上の子どもたちにまで対象が拡大され、接種が勧められるようになりました。

しかしながら、新型コロナ発生から1年半以上経過した2021年6月末時点で、20歳未満では新型コロナにおける死亡者も重症者も「ゼロ」です。

引用元：新型コロナウイルス感染症の国内発生動向（速報値）（重症者割合）6月30日

今までのワクチンとは比較できないほど接種後の死亡や重篤、その他の有害事象件数、副反応報告が上がっている新型コロナワクチン接種を未成年に対して勧める理由が全く見つかりません。

又、国はワクチン接種を任意としていますがメディアでは接種することを促すような報道ばかりしており接種することを誘導しているようにも感じます。

現代の親御さんは共働き、シングルマザーの方も多く育児や家事に追われる日々で自ら情報を得に行く時間ありません。また、厚生労働省のホームページは情報が多く欲しい情報をすぐに見つけることが困難な状況にあります。

そのような世帯にも、平等を期すべく県や市が情報をわかりやすく提供すべきではないかと考えます。

以上の趣旨に基づき、下記事項を要望します。

記

- ① 20歳未満について死亡者、重症者もない事実を公表すること。その上でワクチンを接種する、しないに対して誹謗中傷がないよう対応すること。
- ② ワクチン接種により重篤な副反応もしくは接種後の死亡者もいることを市民に公表すること。
- ③ 未成年に対するワクチン接種を強要しないこと。特に集団接種は行わないこと。

以上

未成年に対する新型コロナワクチン接種体制等改善を求める要望書

令和3年 8月11日

鹿児島県知事
塩田 康一 様

子どもたちの健やかな生活を守る会
代表 鮫嶋 祥子

日頃より、子どもたちのための新型コロナウイルス感染症対策にご尽力をいただいていることに感謝申し上げます。

さて、鹿児島市では10代の子供たちへの新型コロナワクチン接種予約開始日が8月30日からとなっております。

しかし、7月21日厚生労働省発表の資料によると接種後の死亡者は751名、接種後の重篤者は2,812名（男性844名、女性1,962名、性別不明6名）となっております。

死亡との因果関係は全て不明ですが、従来のワクチンでこれだけの接種後の死亡者が出たのでしょうか。

引用元：第64回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会、令和3年度第12回薬事・食品衛生審議会薬事分科会医薬品等安全対策部会安全対策調査会（合同開催）資料より

新型コロナワクチンは、mRNA ワクチンという遺伝子改変技術を用いた製剤であり、人類に対して今まで使用されたことがありません。そのため、短期的、中長期的なリスクも定かではありません。

本来、承認されるまでに必要とされる治験も終わらないまま、緊急事態の名のもとに大規模接種事業が展開されている状況です。そのような状況で、身体的、精神的に成長途上にある12歳以上の子どもたちにまで対象が拡大され、接種が勧められるようになりました。

しかしながら、新型コロナ発生から1年半以上経過した2021年6月末時点で、20歳未満では新型コロナにおける死亡者も重症者も「ゼロ」です。

引用元：新型コロナウイルス感染症の国内発生動向（速報値）（重症者割合）6月30日

今までのワクチンとは比較できないほど接種後の死亡や重篤、その他の有害事象件数、副反応報告が上がっている新型コロナワクチン接種を未成年に対して勧める理由が全く見つかりません。

又、国はワクチン接種を任意としていますがメディアでは接種することを促すような報道ばかりしており接種することを誘導しているようにも感じます。

現代の親御さんは共働き、シングルマザーの方も多く育児や家事に追われる日々で自ら情報を得に行く時間ありません。また、厚生労働省のホームページは情報が多く欲しい情報をすぐに見つけることが困難な状況にあります。

そのような世帯にも、平等を期すべく県や市が情報をわかりやすく提供すべきではないかと考えます。

以上の趣旨に基づき、下記事項を要望します。

記

- ② 20歳未満について死亡者、重症者もない事実を公表すること。その上でワクチンを接種する、しないに対して誹謗中傷がないよう対応すること。
- ④ ワクチン接種により重篤な副反応もしくは接種後の死亡者もいることを市民に公表すること。
- ⑤ 未成年に対するワクチン接種を強要しないこと。特に集団接種は行わないこと。

以上